

西川材

にしかわざい
Nishikawazai

埼玉県の南西部、荒川支流の入間川・高麗川・越辺川の流域は、西川林業地と呼ばれています。

江戸時代、この地方から木材をいかだで江戸へ流送していたことから「江戸の西の川からくる木材」という意味で「西川材」と呼ばれるようになりました。

この地域の風土がすぎやひのきの生育に適しているとともに、人々が丁寧に手入れを重ねてきたことにより「西川材」は木材の色、艶が良く、

年輪が緻密で節の少ない木材として知られています。

「西川材」は柱や梁などの建築用材のほか、美しい木目を生かした木工製品や内装材などにも使われています。

戦後の拡大造林期から50年以上が経過した今、植林した木は成熟期を迎え、一般家屋はもちろん、図書館や学校、ベンチなど幅広く活用されています。



江戸から続く良質な木材
上質で緻密な年輪が特長です

飯能市の文化財・史跡

はんのうしのぶんかざい・しせき
Cultural Properties of Hanno City

歴史を知る、飯能を知る

文化財は、長い歴史の中で生まれ、人とともに生まれ、今日まで守り伝えられてきた人類の財産です。

歴史や文化などの正しい理解のために欠くことのできないものであり、また将来の文化の向上発展の基

礎を成すものとして、大切に保存・保護されています。

飯能市には国指定の文化財が3件、埼玉県指定の文化財が32件、飯能市指定の文化財が74件あります。



1.



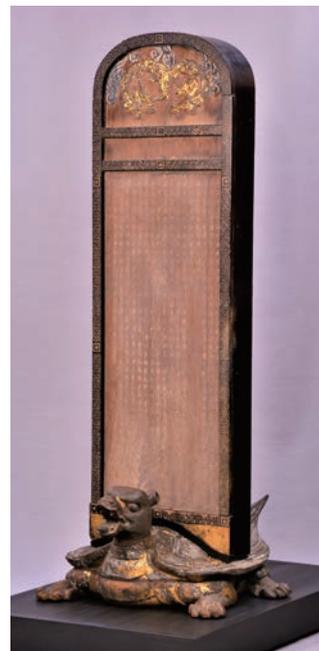
2.



3.



4.



5.



6.



9.



7.



10.

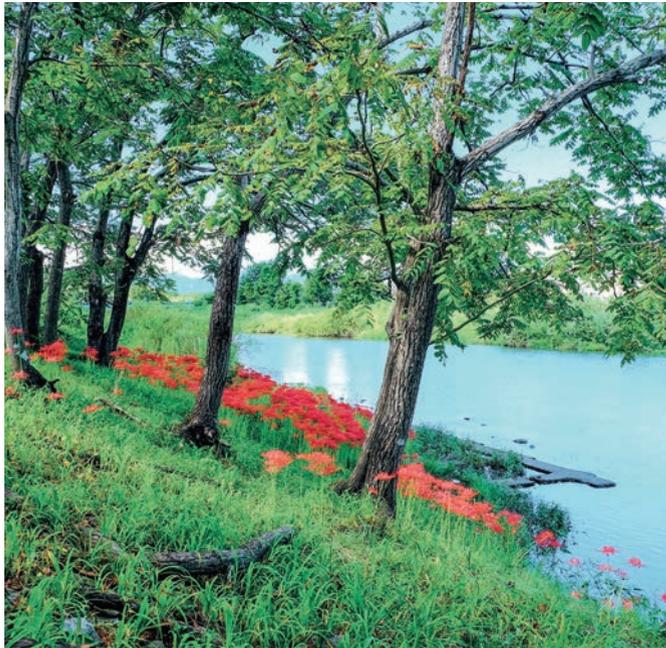


8.



11.

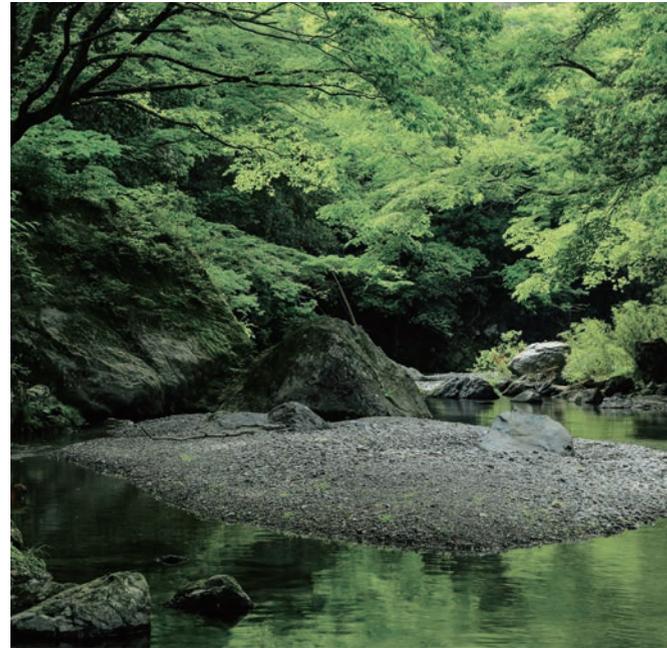
- 1.「福徳寺阿弥陀堂」国指定重要文化財
- 2.「滝の入タブの木」県指定文化財
- 3.「木造軍荼利明王立像」国指定重要文化財
- 4.「飯能の底抜け屋台行事」市指定文化財
- 5.「中山信吉木碑」県指定文化財(写真提供:吉備文化財修復所)
- 6.「能仁寺中山勘解由三代之墓」市指定文化財
- 7.「店蔵綱基」市指定文化財
- 8.「名栗川橋」県指定文化財
- 9.「能仁寺庭園」市指定文化財
- 10.「飯能村絵図」市指定文化財
- 11.「落会西光寺双盤念仏」県指定文化財



1.



2.



3.



4.

Know Hanno 03

飯能市の見どころ

はんのうしのみどころ
Highlights of Hanno City

カメラを持って
訪れてみたい…
飯能の“映え”スポット

飯能市には見どころがたくさんあります。観光名所となっている古刹や自然が織り成す美しい景色、自然と調和しながらも個性的な建物。どのスポットもカメラを持って訪

れてほしいフォトジェニックな見どころです。写真を撮ったらぜひ、じっくりと観賞してみてください。奥深い飯能の良さを感じていただけたらと思います。

- 1. 阿須地内
- 2. 名栗湖
- 3. 吾妻峡
- 4. あざひ山展望公園

ホッケー

Hockey

飯能市では、昭和42年に埼玉国体ホッケー競技の会場となったことを契機に、ホッケーが盛んになりました。市内には3つの人工芝コートがあり、ホッケーに取り組みやすい環境が整い、たくさんの試合が行われています。

また、2023年4月に「阿須運動公園ホッケー場」は改修工事を行い、青い人工芝にリニューアルされ、同年11月には飯能市が「公式ホッケータウン」に認定されました。

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)に出場したホッケー元日本代表の北里謙治選手や現日本代表の藤島来葵選手をはじめ、市内から輩出した数々の日本代表選手が多くの子どもたちに夢を与えています。現在、飯能市では小・中学校の授業にホッケーを取り入れるなど、ホッケー人口の拡大に向けた事業に力を入れています。

ホッケーのまち飯能



地域とともに歩む 飯能市を練習拠点に活躍する 女子プロサッカークラブ

©ELFEN

ちふれAS エルフェン埼玉

ちふれえーえす えるふえんさいたま
Chifure AS Elfen Saitama

ちふれASエルフェン埼玉は飯能市茜台を練習拠点に活動する女子プロサッカークラブ。2021年9月開幕の日本で初めてとなる女子サッカーのプロリーグ、「WEリーグ」に参加します。飯能市は、平成29年にち

ふれASエルフェン埼玉が所属する株式会社エルフェンスポーツクラブと、スポーツ振興や青少年の健全育成、地域振興などを目的に連携協力に関する基本協定を締結しました。以来、選手が飯能市のさまざま

なイベントに参加したり、飯能市がちふれASエルフェン埼玉の情報をPRしたり、多岐にわたって連携・協働しています。